

風景をつくる眼。

SHINICHIRO NAKAHARA'S EYE,
HOW TO MAKE OUR OWN LANDSCAPE

中原慎一郎が出会ったアート、デザイン、工芸

2019年4月27日(土) — 6月30日(日)



霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

鹿児島県霧島アートホール 第2展示室

〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220 TEL 0995-74-5945 FAX 0995-74-2545 <http://open-air-museum.org>

開園時間：9:00~17:00(入園は16:30まで)

観覧料：入園料に含む 一般310(240)円 / 高大生200(160)円 / 小中生150(120)円 / 幼児以下 無料

※()内は20人以上の団体料金 ※70歳以上の鹿児島県民は無料 ※鹿児島県内の小中高生は土・日・祝日無料

展示協力：鹿児島空港ビルディング、川辺手練団、鹿児島県特産品協会、金忠、菊田工務店、島本壘、玄宇民、スィムスーツ デパートメント、

スタジオドーナツ、ハーマンミラージャパン、パビエラボ

協力：グルーヴィジョンズ、関めぐみ、石川顕 制作：ランドスケーププロダクツ、ピーエージーエヌ 主催：鹿児島県霧島アートの森

「風景」という言葉は、目の前に広がる自然だけを指すものではないでしょう。そこに人工的な建造物が加わり、集落ができて生活が始まると、離れた地点から眺めれば、人々の営みも含めたすべてが風景となるはずです。家具デザインに興味を持ち、鹿児島から東京に出た中原慎一郎は、自ら興した会社〈ランドスケーププロダクツ〉を通じて、そのときどきの興味に忠実に、活動の幅を広げていきました。その中心にある考えは「よい風景をつくる」というものでした。今回は、中原の憧れの対象であったデザインや工芸やアート作品などと、それらを学ぶことで出会った鹿児島の若い工芸家たちの作品などを、26のキーワードに分けて並列に展示していきます。鹿児島によりよい風景をつくるために欠かせない自由な発想や独創性が、おのずとそこに浮かび上がってくることでしょう。どうぞご期待ください。



FOR STOCKISTS EXHIBITION



CHIN JUKAN POTTERY / APPLES

中原慎一郎 SHINICHIRO NAKAHARA



中原慎一郎は、1971年鹿児島県生まれ。鹿児島大学教育学部美術科卒業。ランドスケーププロダクツ・ファウンダー。ランドスケーププロダクツは、1997年、中原を中心に結成。1940年～60年代のモダンデザインをルーツに新しいものづくりを目指す。家具の製造販売、住宅・オフィス・店舗の空間デザイン、直営店展開、エキシビションやイベントのプロデュース・ディレクション、編集/出版、ブランディングと活動範囲を広げ、新たなランドスケープ（風景）作りに取り組んでいる。鹿児島に関する取り組みは、独自の視点で鹿児島を立体的に編集したイベント「さつまもの」を国内外にて開催。鹿児島県特産品協会のプロジェクト「MIGOTE」、鹿児島県川辺弘壇協同組合のプロジェクト「川辺手練(しゅれん)団」の監修を務める。「イームズ・デザイン展」(東京都美術館 2002)テクニカルチーム、「民藝とランドスケーププロダクツの出会い」展(アサヒビール大山崎山荘美術館 2003)ほか、展覧会・イベントの監修多数。

EVENT

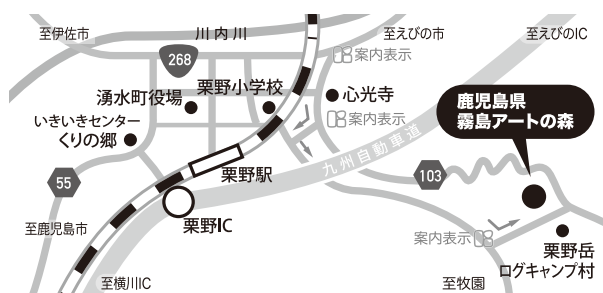
イベントの詳細や時間はHPにてご案内致します。

オープニングイベント	4月27日(土) 14:00～16:30 eatrip 野村友里、十五代 沈壽官、中原慎一郎ほか
トークイベント	4月27日(土)、4月28日(日)、5月・6月も開催予定。
Playmountain Pop-up	4月27日(土)～5月6日(月)の10日間と期間中毎週土日にOPEN。

ACCESS

交通のご案内

車:九州自動車道「栗野IC」から約20分
 「鹿児島空港」から約40分
 JR:JR「栗野駅」から「湧水町営ふるさとバス」
 またはタクシーで「霧島アートの森」下車
 バス:鹿児島溝辺空港から路線バスで
 「いきいきセンターくりの郷」へ、
 湧水町営ふるさとバスに乗り換え
 「霧島アートの森」下車



鹿児島県霧島アートの森(アートホール) 第2展示室

〒899-6201 鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220 TEL 0995-74-5945 FAX 0995-74-2545 <http://open-air-museum.org>

